

## レナシルの測定方法

### (1) 装置

紫外分光光度検出器付き高速液体クロマトグラフを用いる。

### (2) 試薬試液

塩化ナトリウム、塩酸、酢酸エチル、炭酸水素ナトリウム、無水硫酸ナトリウム：特級またはこれと同等のもの

アセトニトリル：高速液体クロマトグラフィー用

レナシル標準品

### (3) 試験溶液の調製

#### ア 抽出

試料100mLに塩化ナトリウム10g及び2M塩酸5mLを添加のうえ、酢酸エチル50mLで2回振とう抽出する。抽出液をあわせ、2%炭酸水素ナトリウム溶液50mLで振とう洗浄後、無水硫酸ナトリウムで脱水ろ過する。

#### イ 濃縮

アで得られたろ液を40°C以下の水浴中で減圧濃縮し、窒素気流下で溶媒を留去する。残留物を2mLのアセトニトリル/水（50:50，v/v）混液に溶解し試験溶液とする。

### (4) 測定機器の操作条件

カラム：内径4.6mm、長さ250mm

移動相：0.1%リン酸/アセトニトリル（60:40，v/v）

流量：0.8mL/min

測定波長：270nm

カラム温度：40°C

保持時間：13.2min

感度：レナシルの1.0ngが十分確認できるように感度を調整する。

### (5) 検量線の作成

レナシル標準品の0.01～0.4mg/L水/アセトニトリル（50:50，v/v）溶液を数点調製し、それぞれ50μLずつ高速液体クロマトグラフに注入し、データ処理装置を用いてピーク高を測定し検量線を作成する。

### (6) 定量試験

試験溶液から50μLを取り、高速液体クロマトグラフに注入し、(5)の検量線によりレナシルの重量を求め、これに基づき、試料中のレナシルの濃度を算出する。